

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営戦略

多様性に裏打ちされた総合力を事業環境に応じて発揮し、最適な事業ポートフォリオを構築して持続的な成長と企業価値向上を実現する企業

営業収益CF成長率
10%以上

ROE
12%以上

Net Debt E
0.6倍

② 中長期の経営戦略

1. 価値創造メカニズム再定義

従来の循環型成長モデルを「Enhance（磨く）」「Reshape（変革する）」「Create（創る）」に再定義し、総合力と施策の掛け合わせで中長期的成長を実現

3. 地球環境エネルギー

LNG・次世代エネルギー対応。SAF、クリーンアンモニア等の社会実装推進。アジア中心に天然ガス需要増加に対応

2. 資金配分戦略

2027年度までの3年間で約1兆円の更新投資及び約3兆円以上の拡張・新規投資を計画。キャッシュフロー状況により追加配分を検討

4. 食品産業戦略

ADM（Archer-Daniels-Midland Company）と戦略的業務提携を推進。食料安定供給体制強化とバイオ燃料供給網構築を推進

③ 対処すべき課題

① 事業環境の不確実性

- ・地政学リスク・経済情勢リスク複雑化への対応
- ・AI急速発展に伴う変化への対応
- ・脱炭素における地域特性別対応の探索

② セグメント別環境変化

- ・マテリアルソリューション：中国経済減速・素材市況低迷への対応
- ・モビリティ：アセアン自動車市場低迷と金利高止まり対応
- ・食品産業：米国関税政策による貿易フロー変化への対応

③ 中期経営課題

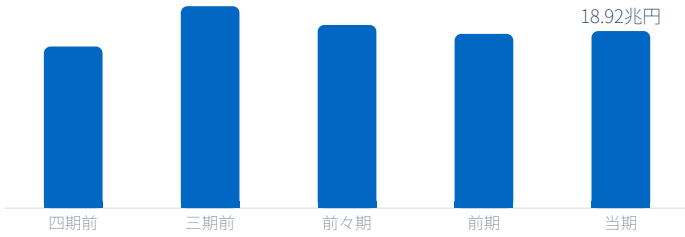
- ・既存事業収益基盤強化と案件創出の両立
- ・電力需給逼迫への対応と脱炭素推進の両立
- ・データセンター需要急増への投資・参入タイミング判断

面接で使えるポイント

- ・経営戦略2027で営業収益CF平均成長率10%以上とROE12%以上を目標に、成長性と効率性の同時実現を目指す
- ・約1兆円更新投資・約3兆円以上拡張投資で、多様な地域・商材に総合力を発揮する戦略的ポートフォリオ構築
- ・ADMとの戦略的提携やデータセンター米国市場参入など、新興国成長・脱炭素・AI時代の事業機会を先取り

証券コード 8058

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
18.92兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
46点 / 100点

要するに

2024年度の連結売上が18.62兆円、親会社所有者帰属当期純利益が9,507億

主力事業・セグメント

・卸売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高18.92兆円の超大型企業
- ・平均勤続17.0年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 63.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

2,113万円

卸売業内 1位/282社

平均年齢

42.3歳

卸売業内 144位/283社

平均勤続

17.0年

卸売業内 46位/282社

女性管理職

13.1%

卸売業内 52位/209社

男性育休

52.6%

卸売業内 133位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: HarvestX、三菱商事株式会社との投資提携を締結

